

学位被授与者氏名	牛草 文誉
論文題目	北九州市の「一日里親」が社会的養護の中で果たす役割
論文審査結果の要旨	<p>本修士論文は 20 年にわたる牛草氏の一日里親のボランティア経験が研究の動機になっている。養育里親や専門里親と異なり、一日里親は先行研究が少ないテーマである。一日里親への調査や児童養護施設出身者へのインタビュー、児童相談所からの資料入手など、秘密保持の観点から容易でない部分があるが、こうしたテーマへの接近の仕方および研究成果を一日里親の実践に還元しようとする研究スタンスは高く評価できる。また、一日里親のケアを考えるために被虐待児の特性を踏まえるなど、実践・技術的なアプローチも視野に入れてテーマを深く掘り下げようとしている所に努力がみられる。我が国の施設中心の社会的養護に対して、里親など家庭的養護が課題とされる今日的状況の中で、一日里親に注目し、その役割や意義を実証的に考察したことは貴重であり、内容的にも修士論文としての評価にあたいするものである。</p> <p>平成 24 年 9 月 7 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 E 1 1 0 9 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施した。牛草文誉氏による論文の内容の説明を受け、質疑応答を行った。その結果、全員一致で当該論文が修士（人間関係学）として十分な内容であると判定した。</p>